

明るい子 夢
がんばる子 力
やさしい子 心



令和4年1月27日 1月号

「令和の日本型教育」の構築を目指して ②

~全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現~ 校長 成田光弘

従来の日本型教育の成果と課題を受け、答申されたのが「令和の日本型教育」です。目指す学びの姿は次の通りです。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

「個別最適な学び」とは、以前より重視されていた「個に応じた指導」つまり「指導の個別化」と「学習の個性化」を学習者の視点から整理した概念ということになります。

子供の特性や学習進度に応じ、指導方法・教材等を柔軟に提供・設定したり、支援が必要な子供に重点的な指導を行ったりすること等が「指導の個別化」です。また、子供の興味関心に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することは「学習の個性化」です。これら「個に応じた指導」が充実し、子供が自らの学習状況を把握し、「主体的・対話的で深い学び」を実現させていることを、「個別最適な学び」と言います。

その際、ICTの活用により、学習履歴（スタディ・ログ）や生徒指導上のデータ、健康診断情報等を利用することや教師の負担を軽減することが重要となります。

「協働的な学び」とは、「個別最適な学び」が「孤立的な学び」に陥らないよう、探求的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する学びのことです。一人一人の良い点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出します。異学年の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いも大切です。

このことを踏まえて、これからの学校は、次のような方向性で進んでいきます。

- ◆全ての子どもたちの知・徳・体を一体的に育むため、これまで日本型学校教育が果たしてきた、①学習機会と学力の保障、②社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障、③安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障を学校教育の本質的な役割として重視し、継承していく
- ◆教職員定数、専門スタッフの拡充等の人的資源、ICT環境や学校施設の整備等の物的資源を十分に供給・支援することが国に求められる役割
- ◆学校だけでなく地域住民等と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとして一体となって子どもたちの成長を支えていく
- ◆一斉授業か個別学習か、履修主義か修得主義か、デジタルかアナログか、遠隔・オンラインか対面・オフラインかといった「二項対立」ではなく、教育の質の向上のために、発達の段階や学習場面等により、どちらの良さも適切に組み合わせ生かしていく
- ◆教育政策のPDCAサイクルの着実な推進

要するに、今まで通り学校は、学力のみならず全人的な教育を目指していくこととなります。ただし、全てが学校に任される訳ではなく、コミュニティースクール等を機能させ、地域住民も学校と連携・協働し子供を育てていくこととなります。国も専門スタッフの導入、ICTの活用など、人的支援・物的支援を保障していくこととなります。

新しい学びでは、よくタブレットを活用した授業がイメージされます。しかし、デジタルかアナログかという問題も二項対立ではなく、いいとこ取りのハイブリッドを目指すこととなります。

今までの財産と新しいツールを使って、より子どもたちに合った教育をこれからも展開していきます。



2学期アンケート結果～「笑顔さらさら」の実感へ向けて



学校教育目標や今年度の重点目標「笑顔さらさら」の達成状況を確認するため、1学期末に引き続き児童・教職員・保護者それぞれによるアンケートを実施しました。

この結果やコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の委員のご意見等踏まえ、3学期及び次年度に向けての改善策を職員間で話し合いながら、東聖小学校の教育を更に充実させていきます。

求める子どもの姿 三者の総括評価

A 満足できる状況 90%以上

- ② 学校への信頼度 (94%)
- 6 いじめのない学校 (93%)
- 15 楽しい学校生活 (93%)
- 13 課題対応能力 (92%)
- 10 体験活動 (92%)
- 1 学習内容の理解 (90%)

B ほぼ満足できる状況 80～90%

- 7 明るい挨拶 (89%)
- 4 運動習慣 (88%)
- ① 少数指導の効果 (87%)
- 11 自己管理能力 (86%)
- 14 社会形成能力 (86%)
- 8 規範意識 (86%)
- 12 自尊感情 (85%)
- 2 学習習慣 (83%)
- 5 生活リズム (81%)

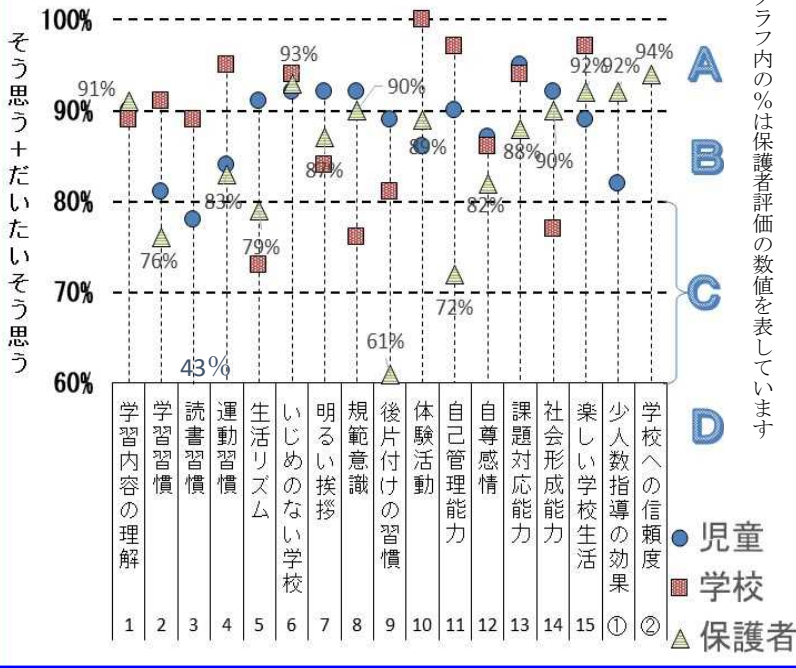
C やや課題のある状況 60～80%

- 9 後片付けの習慣 (79%)
- 3 読書習慣 (70%)

D 課題のある状況 60%未満

※D評価の項目はありませんでした。
(上記の数字はアンケート項目の番号です)

児童・学校・保護者の肯定的評価の割合



※グラフ内の%は保護者評価の数値を表しています

「学校への信頼度」が引き続き最も高い項目となりました。また、「いじめのない学校」「楽しい学校生活」も高評価となっています。

「読書習慣」については、前回同様家庭での取組が低評価でした。学校では朝読書等を通して、読書の時間を確保していますが、ご家庭では中々読書をする時間が取れないとの声も聞かれますので、次年度はご家庭でも評価しやすい文言にしようと考えています。

東聖小ダイジェスト・保存版 2月の主な行事予定

東聖小学校での様々なきまりや約束ごとなどを、「生活」「学習」「その他」に分けて一覧にした「東聖小ダイジェスト」を作成し本日配付しました。ご家庭で見やすいところに掲示するなどしてご活用ください。

- 2月 1日 (火) スキー学習 3年②
- 2日 (水) 新1年生保護者入学説明会
PTA 理事会②
- 3日 (木) さくら会三役選挙
- 8日 (火) スキー学習 2年①
- 9日 (水) 全校朝会 (三役認証)
- 10日 (木) PTA 生活部交通安全指導
- 14日 (月) スキー学習 2年②
- 15日 (火) 東神楽中学校入学説明会
- 16日 (水) スキー学習 1年
- 17日 (木) スキー予備日、弁当持参
5時間授業 職員会議⑬
- 24日 (木) 金曜日課、全校参観日 A
PTA 本部役員会⑥
- 25日 (金) 全校参観日 B 貯金日

東聖小ダイジェスト	
登校 前年同様 8:00～8:15 今年同様 8:05～8:15 ●決まらぬ遅参で登下校します。 ●決まらぬ遅参で登下校します。	持ち物 ●教科書 ●学習用品 ●給食 ●お弁当 ●お水 ●お財布 ●お薬 ●お財布 ●お薬 ●お財布 ●お薬
学習用具 ●教科書 ●学習用品 ●給食 ●お弁当 ●お水 ●お財布 ●お薬 ●お財布 ●お薬 ●お財布 ●お薬	読書活動 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣 ●読書習慣
生活 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶 ●挨拶	その他 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全 ●交通安全